

専門委員会

委員長 神余 智夫

今年度の活動テーマは貧困だけにとどまらず、附属学校が直面する幅広い課題を専門的に扱う活動を行った。

1. 子ども生活支援（貧困）

- ①前年度総会で、東京学芸大学松田副学長によるセミナーを実施した。
- ②子ども生活支援に関するアンケートを実施し、報告書としてまとめた。
- ③現段階で学校に確認していただきたい内容をまとめた緊急アピールを作成し学校に配布した。
- ④奨学金に関して、知見者の意見ヒアリングを基に、可否を含めた議論を行っている。
- ⑤貧困の連鎖を断ち切るために有効な事例を視察した。（静大浜松中トップガンプロジェクト、学芸大こどもモードハウス等）
- ⑥東京学芸大学の貧困に関するシンポジウムにおいて、昨年度の活動を発表した。

2. 財務省と連携した財政教育プログラム

一昨年から、財務省と連携した財政教育プログラムの普及活動を行っている。新しい取組みのある事例に対して、視察を行った。全附P連としては政策的な中立性に特に配慮している。着実にプログラムが進歩し、教育効果も高まっているように感じる。

3. 附属学校の改革に関する有識者会議

国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議を傍聴した。第4回では、附属学校の問題点と改善事例などを事務局の田中先生が説明を行った。附属に対して厳しい意見もかなり出ており、夏ごろに予定されている報告書の内容は注視しなければならない。

4. いじめ問題に対する対応

東京学芸大学のいじめ問題を受け、連盟主催の国立大学附属学校におけるいじめ防止等の対策のための協議会に参加した。全附P連独自の対策も検討している。